

## 浜名湖流域のネオニコチノイド系農薬の動態

辻野 兼範

### 1. 要約

浜名湖流域の7河川の河口でネオニコの調査を実施し、ミカン生産で有名な三ヶ日町の河川のネオニコが春から夏に特に多く、6月の1日あたりのネオニコの総量は250ng/Lもあり、中でもイミダクロプリドが165ng/L、クロチアニジンは70ng/Lも検出された。地下水からも同様に6月の値が高く、1日あたり総量は300ng/Lもあり、地下水への浸透が確認された。ミカン生産者の中には80%減農薬への取り組みもあり、消費者の意識の改革（果実の表面のきれいさにこだわらない）が必要である。